

【技術の名称】稜線長密度の大きいテトラポッドの製作技術

【依頼者】電源開発株式会社、株式会社不動テトラ

【技術の概要】

稜線長密度の大きいテトラポッドの製作技術とは、海藻付着効果の向上を目的として、テトラポッド表面に凸凹加工を施し、稜線長密度を増加させる技術である。ここで稜線長密度とは、ブロック表面における形状の急変部（稜線）の総延長を表面積で除した値（ m/m^2 ）である。

本技術は、型枠内面に凸要素を取り付けた専用型枠を用いることで、従来の材料や製造工程を大きく変更することなく、表面に凹凸を有するテトラポッドを製作するものであり、通常の製作と同様の施工フローで適用可能である。また、凸要素の形状条件（オーバーハングの排除や適切なテーパ角の設定等）を満足することで、脱枠性や施工性を確保できる。

さらに、実規模（ $5m^3$ 級）での製造・施工においても適用可能であることが確認されており、従来と同等の施工性を維持しながら、稜線長密度を大きく向上させることが可能な技術である。



稜線長密度の大きいテトラポッドおよび凸要素付き型枠

【評価の結果】

一般財団法人沿岸技術研究センターが定める港湾関連民間技術の確認審査・評価に関する実施要領に基づき、下記の内容を確認した。

凸要素付き型枠を用いることで、稜線長密度（ m/m^2 ）の大きいテトラポッドを製作できること。